

ワクながわ新聞 第134号

ちょっといい話

失敗敗したり、逆風に直面した時に、どれだけエネルギーを出せるかが常に求められると思います。いつもうまくいくとは限らない、そう考えておくといい。野球だとバッターは7割の打席が失敗です。失敗の繰り返しの中、それをどう乗り越えていくかが大事なのです。(松井秀喜さん)

何が幸せかは人それぞれだけど、私の場合は人の心が理解できること。出会った人の思いにすっと寄り添えたとき、とても幸せを感じます。人の出会いが幸せを生むと信じています。(倍賞千恵子さん)

発達障がいなど障がい児支援のツールが完成

障がい児や特別な支援の必要な子が、乳幼児期から学齢期、そして大人になるまで、切れ目のない一貫した支援の必要性が叫ばれています。このほど、支援機関が変わっても継続した支援が受けられるよう、保護者が子どもの様々な情報を書き込む”情報共有シート“「しながわっこサポートブック」が完成しました。

いくつになっても変わらない、また、蓄積されていくプロフィールや医療・福祉情報、成育歴や相談歴は共通ファイルに書き込み記録を残していきます。成長と共に変わっていく睡眠・食事・排泄など生活のこと、運動・遊びといった体のこと、感性や好みといった情緒的なことは、乳幼児期ファイル、学齢期ファイルと発達に応じたファイルが用意されました。今後、施設単位に勉強会を開き、保護者に利用していただくことになります。

【スケジュール】6月：品川児童学園、9月：北療育センター城南分園、10月：児童発達支援サービス利用者、11月：特別支援学校等



がけの安全対策を支援します

近年、台風や大雨の発生で、上大崎・東五反田・北品川等の地域で毎年、避難準備情報が出されています。区は独自調査を進めた結果、「がけ・擁壁安全化支援事業」を実施することになりました。まずは、相談してみましょう。

【支援1】がけ・擁壁安全化アドバイザーの派遣

・専門家が現地に派遣され、アドバイスや対策の相談に応じます。

【支援2】がけ・擁壁改修工事費助成（工事費1／3※上限額あり）

- ① 急傾斜地崩壊危険個所の改修工事費助成
- ② 道路・公共施設に面する2mを超える大谷石造等・自然斜面の改修工事費助成

【問合せ】建築課審査担当 ☎03-5742-6774



今年の待機児童の状況

過去最大の定員増ではありました…

申込数3,444人(前年度3,281人)、入園数2,428人(同2,310人)、待機児童数219人(同178人)。年齢別の待機児童数は、0歳73人、1歳114人、2歳23人、3歳9人。また、地域でも差が見られました。荏原地域71人、五反田51人、大崎33人、大井29人など。

なお、これらは認可保育についての状況で、認証や認可外保育に入られた方は含まれていません。



目黒川の船のマナー

桜の季節、船から花見を楽しむなど、目黒川を楽しむ人たちが増えてしましましたが、それに伴い引き波や騒音への苦情も寄せられるようになりました。今年は、目黒川航行マナー向上委員会が立ち上げられ、警察や海上保安部の協力のもと、みんなが気持ちよく利用できるよう航行制限がかけられました。

4月1日、2日は、船146隻、水上バイク89隻、カヌー類67隻が目黒川を航行しましたが、取り組みの効果もありいわゆる暴走行為はなかったようです。ご協力に感謝！

